

平成 26 年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	元風ネット
議員名	金濱 元一 ・ 南川 達彦
調査実施年月日	平成 26 年 4 月 23 日
調査先 自治体名等	石川県金沢市
調査項目	スマホアプリコンテストについて
調査目的	データを活用したまちづくりについて
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口: 463,748 人(H26.3.1現在) 行政面積: 468.22 km²</p> <p>2 視察内容</p> <p>金沢市 市長公室 情報政策課 ICT 推進室 室長 松田 様 金沢市 市長公室 情報政策課 ICT 推進室 主任主事 松川 様 にお話をうかがった。</p> <p>スマホアプリコンテストは民間によるアプリケーション開発促進やインフラ整備、ビジネスチャンスの創出のために開催され、日本中から広くアイデアを募集し、まちづくりに活かされている。</p> <p>コンテストは、H23年度から実施され、今年度で4回目。応募は市内近郊の学生や会社からが多いが、昨年度は神奈川県大学の研究室からの応募があり賞も受賞し、研究室とはその後もつながりが続いており、広がりがみられたということだった。</p> <p>コンテスト選考は、1次書類選考、プレゼンテーションによる2次選考。</p> <p>募集の周知は、ホームページ・公式フェイスブックページでの告知、市内近郊の工業高校、市内外の工業専門学校や工業大学には封書にて通知を行っている。</p> <p>H25年度からは、オープンデータ部門を作り、オープンデータを活かしたスマホアプリも募集している。</p> <p>グランプリ受賞には賞金50万円を進呈し、作品アプリの年度内の google か apple に登録して供用開始をすることとしている。</p> <p>全体の予算は300万円。予算のうち100万円が賞金となっている。</p> <p>課題としては、学生提案のコンテスト受賞作品は学生卒業後に更新などが滞ることがあること、英語の対応には、賞金以上の金額がかかり実現しないことなどが見られた。</p>
感想(まとめ) 本市へ生かせること 等	<p>民間や学生などの力を活用したまちづくりとして、スマホアプリケーション取り組みやすい事業である。コンテスト形式にすることで、競い合った中で質の高いものを選考できる。また、市内外のアイデアを集めることが出来ること、また市民や観光のサービスの向上を図ることが出来ることなど、まちづくりへのメリットが多い。</p> <p>本市には、工業高校、工業大学とアプリ開発に挑戦しやすい環境があり、行政主導できっかけを作ること、金沢のようなスマホアプリコンテストが出来ると考える。</p> <p>若い世代の力をまちづくりに取り込む良いきっかけにもなると考える。</p>